平成　23 年 10 月 19 日

各　　位

会 社 名　スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
代表者名　代表取締役最高経営責任者（CEO）関根　純
（ＪＡＳＤＡＱ・コード 2712）
問合せ先　人事・管理統括オフィサー　荻野　博夫
（TEL. 03-5412-7481）

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ，平成 23 年５月 12 日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

1．平成 24 年３月期第２四半期累計期間業績予想の修正（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	51,000	3,650	3,750	1,950	1,360 円 18 銭
今回修正予想（B）	53,150	5,000	5,100	2,800	1,953 円 08 銭
増減額（B－A）	2,150	1,350	1,350	850	―
増減率（%）	4.2%	37.0%	36.0%	43.6%	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 23 年３月期第２四半期）	51,396	4,473	4,591	298	208 円 87 銭

2．　平成 24 年３月期通期業績予想の修正（平成 23 年４月１日～平成 24 年３月 31 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	103,000	5,750	5,950	2,900	2,022 円 83 銭
今回修正予想（B）	105,400	7,200	7,400	3,850	2,685 円 48 銭
増減額（B－A）	2,400	1,450	1,450	950	―
増減率（%）	2.3%	25.2%	24.4%	32.8%	―
（ご参考）前期実績（平成 23 年３月期）	101,576	6,330	6,585	1,147	803 円 04 銭

3．　修正の理由

(１)第２四半期累計期間の業績予想の修正理由

継続的に進めている人材及び店舗環境へのビジネス投資の効果や、ご好評頂いた新製法の「ソイ ストロベリー クリーム フラペチーノ®」等のビバレッジに牽引され、既存店売上高は想定を上回って推移いたしました。さらに今夏の好天候にも後押しされ、第２四半期累計期間の売上高は、５月 12 日発表の前回予想を上回る水準となっております。この好調な売上高を反映し、利益につきましても前回予想を上回り、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに過去最高を更新する見込みとなりました。

(２)通期の業績予想の修正理由

通期につきましても、第２四半期累計期間の好調な業績見通しを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

●　配当予想の修正について

1．　修正の内容

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
前回予想 （平成 23 年５月 12 日発表）	円 銭 ―	円 銭 0.00	円 銭 ―	円 銭 400.00	円 銭 400.00
今回修正予想	―	0.00	―	600.00	600.00
当期実績	―				
前期実績 （平成 23 年３月期）	―	0.00	―	500.00	500.00

2．　修正の理由

当社は、諸策を通じた株主の皆様の利益拡大を経営の最重要課題の一つとして認識し、財務状況と業績に応じた適正な剰余金処分を継続的に実施することを基本方針としております。この方針に基づき、今回の業績予想の修正を踏まえ、配当に関する前回予想を増額修正し、一株につき 600 円とすることといたしました。

内部留保金につきましては、当社の戦略に沿った新規出店及び既存店の改装等に際しての設備投資資金に充当し、財務の健全性を考慮しつつ、経営基盤の一層の強化と将来の事業展開に有効に活用してまいります。

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって記載内容と異なる可能性があります。

以　　上